



ACADEMIC THEATER

アカデミックシアター プロジェクト

令和四年度 募集について

ACADEMIC THEATER(アカデミックシアター)と
は

学生、企業、地域と 交わる新しい 実学の実践拠点。





近畿大学の学生が主体となり、
教職員、企業、地域住民の方々と協働しながら、
多様な個性をぶつけ合い、専門領域を超えた試行錯誤を繰り返し、
共に社会問題に立ち向かう
社会的価値を生む活動。



プロジェクトは1年毎に学内公募から採択され、それぞれが自主性を持って取り組みます。
令和3年度のプロジェクト数は「教職員プロジェクト」「学生プロジェクト」「企業プロジェクト」
合わせて30のプロジェクトがあり、全プロジェクトの合計イベント数は150回(令和2年度実績)にものぼります。

教職員プロジェクト

教員等の研究(知見)を活かし、学生が専門知識を活かして新しい課題を探求。

マーケティング・デザインX Lab.



デザイン思考、サービスデザインの研究、習得を、社会との共創によって、プロジェクト・ベースド・ラーニングを通じて実践し、大学が有する資源(学生、教職員、施設)による分野連携プラットフォームの構築と、新たな社会価値の創造を目指すプロジェクト

ゾンビ研究所 + メディア・コンテンツ・ツーリズム・ラボ + ゲーム文化研究所



産学連携でメディアを創ることによって、「研究成果」を社会に向けて広く発信する方法の発見を目指すプロジェクト。書籍やウェブ媒体、SNS、イベント等の、人々に情報を伝える様々な「メディア」を創る実践を通じて、実学的な研究を進めていきます。



学生プロジェクト(=アカデミックチャレンジ)

学生が持つ得意分野を活かし、学生主導で社会価値の創造に向けて探求、実践。

近畿大学食品ロス削減推進プロジェクト



「食」を通じてヒト・モノを繋ぐことによって、
食品ロス削減と地方創生を目指すプロジェクト

0-10Studio



学生の専攻・特技を越境させることによって、多様な考え方や才能を
活かすクリエイティブスタジオを目指すプロジェクト



企業プロジェクト

企業の持つ資産、そして課題に対して学生を巻き込んで解決に向けて探求。

マツキヨブランド認知度向上プロジェクト



マツモトキヨシのブランディングと小売業のマーケティングによって、近畿大学内でマツキヨブランドの認知度向上を目指すプロジェクト



プロジェクトの5W1H

なにを？(What)

アカデミックシアターを起点に近畿大学に笑顔や賑わい、活気を生み出すことを目指しています。

いつ？(When)

年間を通じて活動しています。

どこで？(Where)

アカデミックシアターのさまざまなスペースが舞台です。
(ACT/GARAGEなど)

だれが？(Where)

夢を持つプロジェクト代表者を中心に、同じ課題に取り組む学生・教職員

だれと？(with who)

気に入ったプロジェクトがあれば、どなたでも気軽にご参加頂けます。

どうやって？(How)

アカデミックシアター公認団体として各プロジェクトは自主的に運営します。



プロジェクトに参加すると

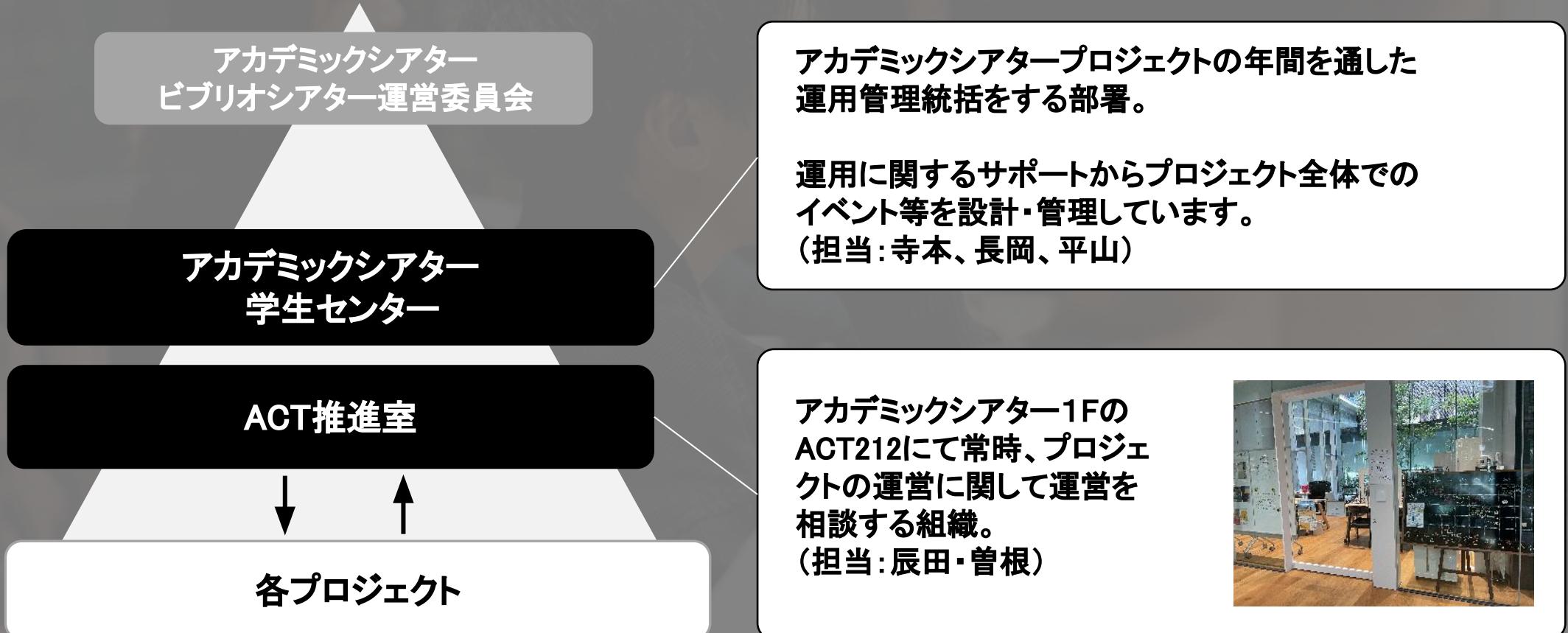
- 所属学部以外の仲間ができる！
- 授業以外の楽しみが増える！
- 気に入ったプロジェクトがあればメンバーになれる！
- 自分の専門領域を活かしたプロジェクトを作れる！
- さまざまなサポートが受けられる！

※1 事前に面談と審査があります

※2 施設利用、広報PR・企画作成支援など幅広く活動をサポートします

プロジェクト運営をサポートする2つの組織

プロジェクト運営に関して、アカデミックシアターでは2つの組織でサポートしています。



プロジェクトへの主なサポート内容(施設利用・広報支援)



採用されたプロジェクトは、アカデミックシアター公認の団体として、アカデミックシアター内の施設を使用することができます、さらに様々なサポートを受けることが可能です。

サポート① 施設(ACT/イベントスペース)利用

アカデミックシアター内にあるガラス張りの部屋ACT(アクト)をプロジェクト活動の基点として1年間使用することができます。



■ACT

またアカデミックシアター内のイベントホール「実学ホール」や「ラーニングコモンズ」の使用も可能。



■ラーニングコモンズ

サポート② モノづくり施設「GARAGE」利用

2021年4月に「ACADEMIC THEATRE Annex THE GARAGE」としてオープンしたモノづくり施設「THE GARAGE」を拠点に、様々な工作器具やデジタル機器を用いて、アイデアを形にするためのプロトタイプを制作することができます。



サポート③ サポートプログラム

プロジェクト活動に基づく支援を目的に、様々なサポートプログラムを用意しています。※事前に面談と審査があります。

【KINDAI DESIGN LAB+B&Bプロジェクト】

2019年より例年アカデミックシアター内の空間演出に対してテーマを持って展開するプロジェクト。

本年度のコンセプトを「Book Better life(本とより良い暮らし)としてタイムシェアACT421の空間演出を企画・実践。空間演出に関する材料の購入に関してサポート。



【ラブノプラヴィエ】

今、話題化されている「生理難民」に関するテーマに対する近畿大学学生の認知向上のために、学内アンケート(2,200名より聴取)や生理用品の実配布を実施。
企画および活動費に対するサポート。



サポート④ 広報支援(情報発信)

アカデミックシアターで展開するWebサイト「ACTEX」や、アカデミックシアター公式ツイッター等を活用し、イベント告知やプロジェクトの情報発信が出来ます。

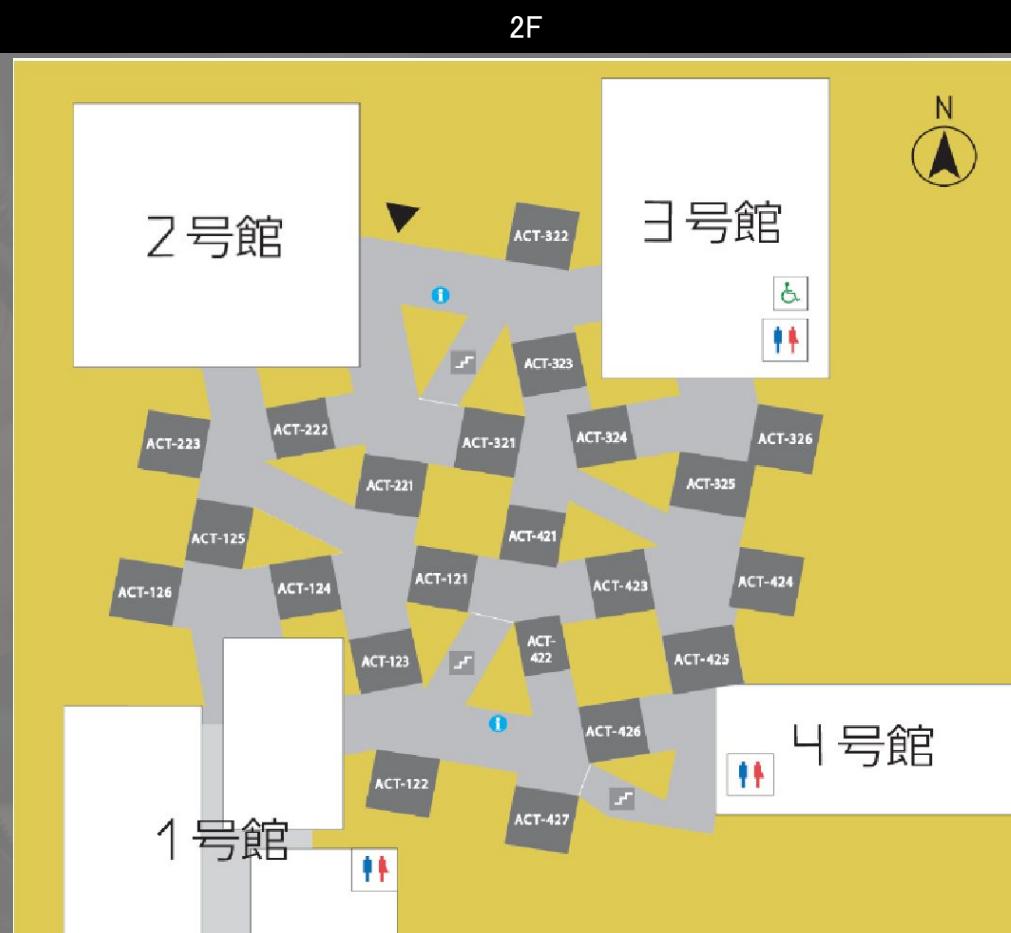
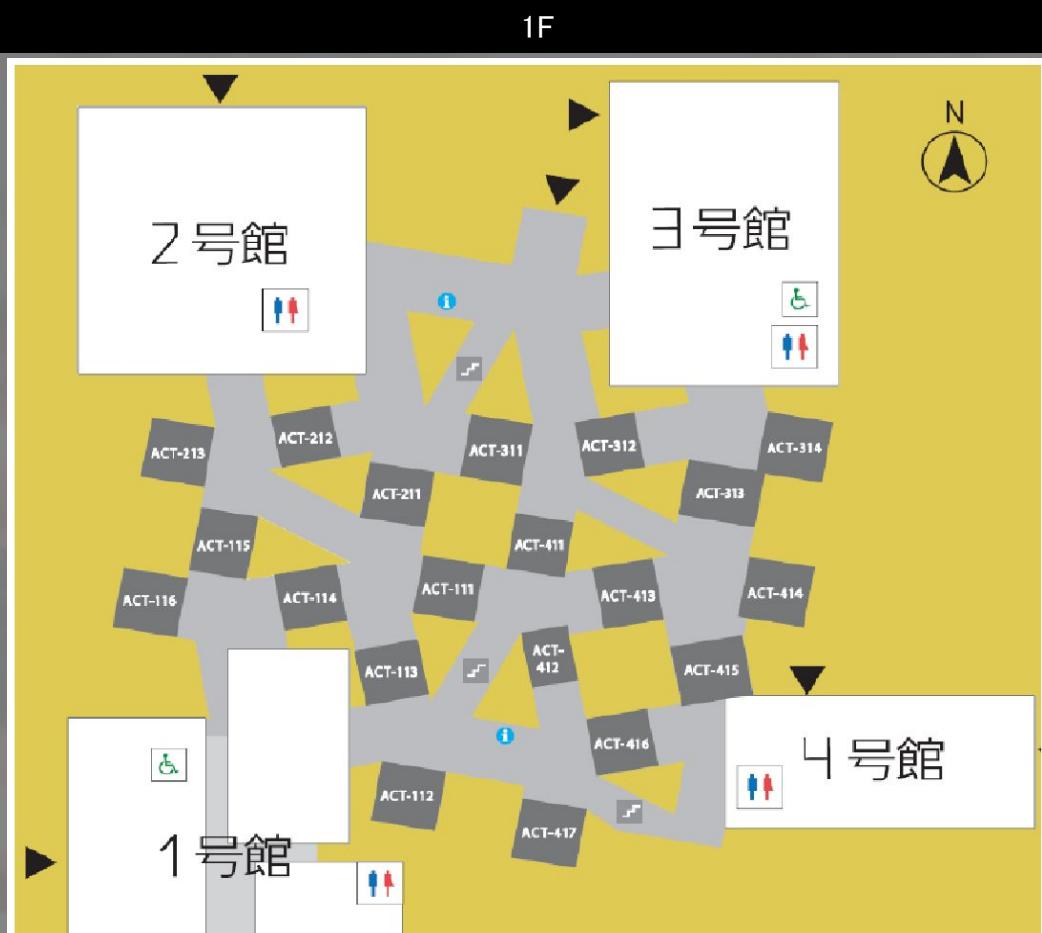


EVENTS



ACT(アクト)施設情報

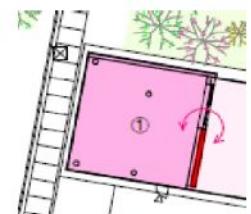
ACADEMIC THEATER



プロジェクトスペース

【大ACT(アクト)】

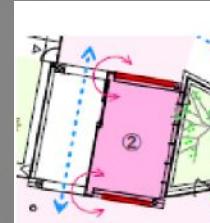
約50m² 25名程度収容
* ACT(アクト)によって多少の大小あり



5号館1F/2F

【小ACT(アクト)】

約20m² 15名程度収容
* ACT(アクト)によって多少の大小あり



5号館1F/2F

アカデミックシアター公認の団体として認定されるには下記の要件を満たす必要があります。

募集プロジェクト

- 教職員プロジェクト
- 学生プロジェクト
- 企業プロジェクト

応募条件

- 1.「得意分野」や「専門領域」を活用したプロジェクトであること。
2. プロジェクトには代表となるリーダー(=キャプテン)のもと、プロジェクトを運用すること。
 - * 学生プロジェクトは必須。
 - * 教職員および企業プロジェクトは任意。
3. アカデミックシアター主催の各種イベントに、必ず参加すること。



申請にあたっては、プロジェクトの代表もしくは学生キャプテンが、下記の項目に対して回答頂く必要があります。

- ①プロジェクトが提供できる「得意分野」や「専門領域」は何ですか？
- ②その「得意分野」や「専門領域」を活用してどのようなテーマで、何を行いますか？
- ③運営体制や活動するメンバーを教えてください。
- ④どのような活動を行うのか、1年間の具体的な活動計画を教えてください。
- ⑤プロジェクトを通じて、近畿大学や地域・社会に対して、どのような価値を提供できるかを教えてください。
- ⑥最後に、プロジェクトにかける意気込みを教えてください。(学生プロジェクトのみ)

令和四年度における全プロジェクト対象公式イベント等の予定

プロジェクトに関わる関係者は、下記のアカデミックシアター公式「イベント」や「会議」への参加をお願いします。



ACADEMIC THEATER

イベント

■キックオフミーティング(4月)

令和4年度、全プロジェクトが一同に集結したキックオフミーティングを開催し、プロジェクト同士の顔合わせを実施。

■オープンACT(10月)

全プロジェクトおよび学内の学生を対象に各プロジェクトの取り組みを紹介しプロジェクト間の交流機会を生むイベントを開催。

■成果報告会(3月)

令和4年度の活動の締めくくりとして、プロジェクトの成果を発表するイベントを開催。

プロジェクトサポート

■全プロジェクト【代表または学生キャプテン】対象

①「プロジェクト代表者・キャプテン会議」

全プロジェクトの代表者もしくは学生キャプテンを対象とした会議を開催しプロジェクト間の交流を図る。

■学生キャプテン対象

②「1 on 1 ミーティング」

学生メンターシップメンバーと学生キャプテンとの1対1での定期ミーティング。プロジェクトに関する様々な相談を行うことが可能。

③「プロジェクトマネージャー講座」

学生キャプテンのプロジェクトマネジメントスキル向上のために、プロジェクトを円滑に遂行するプロジェクトマネジメント講座を開催。

令和四年度における全プロジェクト対象公式イベント等の予定



「学生キャプテン」対象のサポートに関するメンターシップメンバー「株式会社CroMen」

講座とメンタリングを通して学生のプロジェクトをサポート

▼株式会社CroMen

2012年よりこれまで参加者1,000名を超える大学生キャリア形成支援プログラム「Cross Mentorship」を運営。キャリア教育やコミュニティ形成の知見、企画運営ノウハウを活かして事業展開を行っています。



令和三年度は学生プロジェクト(アカチャレ)を対象に年間を通してサポート

- 各プロジェクトリーダーを対象としたプロジェクトマネジメント講座の開催
- 毎月のプロジェクトの進捗と目標に対する1対1メンタリング「1on1」対応
- 6名のプロジェクトリーダーによる交流会「アカチャレ交流会の運営



申請方法

1) 応募

所定の申請用紙に必要事項を記入し、
12/21(火)までに、推進室まで提出ください。

※申請用紙は、11月29日よりACTEXよりダウンロード可能

2) 面談

申請書類を精査し、12月末までに面談希望日を聴取し、**1月13日(木)～31日(月)**の期間において面談を行います。

スケジュール

- ・**12月1日(水)**～：募集開始
- ・**12月21日(火)**：申請書締め切り
- ・**1月11日(火)～31日(月)**：面談
- ・**2月中旬**：応募プロジェクトへの内定通知
- ・**3月上旬**：正式通知
- ・**3月下旬**：各プロジェクト入れ替え
- ・**4月～**：運用スタート(～3月末)

■応募申請等に関する問い合わせ先 -

- ACT 推進室(ACT212)
- TEL:06-6730-5880(内線6522)
- MAIL:act@ml.kindai.ac.jp

※月～金 8:45～18:30 / 土 8:45～17:30